

# 社会： 安全品質活動



危険物を取り扱うNRSグループにとって、「安全」は事業の根幹であり社会への責務です。社員一人ひとりが危険を予知して事故を防げるよう、計画的かつ徹底した安全品質管理を行っています。

## 安全方針

### 事故のない会社

### 規律正しい社員の伝統的信用を引き継ぐ

## 安全で高品質な物流を提供するために

### 安全推進委員会

社長を委員長とし、安全目標およびNRSグループマネジメントプログラムを策定します。委員会は年2回開催し、PDCAを回しています。

#### 2023年度安全目標

目標	実績
1. 環境事故ゼロ	達成（ゼロ）
2. 重大事故ゼロ	達成（ゼロ）
3. A級事故 10件以下	達成（4件）

### 化学物質管理の徹底

化学物質による事故防止のためリスクアセスメント管理規則を制定し、新規取扱時や変更時のリスクマネジメントを徹底しています。

### 安全大会

2023年5月20日に開催。

バルク物流事業部およびコンテナ事業部系現場から国内11拠点が日ごろの成果を発表しました。製品納入先での安全配慮事項、構内整備作業の安全対策、事故想定訓練等が紹介されました。



写真は当日の参加者一同



## 社長安全巡視 2023年度実施状況

NRSグループ国内26営業所を各地区に分け、年1回実施しています。2023年度は、新潟地区、中部地区、九州・周南地区で実施しました。社長をはじめ関係部署責任者および各管理者が営業所の倉庫構内・車両車庫・事務所等を巡視し、危険箇所の抽出および問題点の話し合い、業務改善に繋がっています。また、巡視終了後、安全会議を開き意見交換を行うことで、さらなる安全活動の強化に役立てています。



## 重大事故防止強化月間

過去の教訓を風化させないことを目的に、重大事故が発生した月間を対象に「強化月間」を毎年設定し、ポスターによる啓蒙、事故の発生状況、原因および対策について再学習しています。対策の維持状況の確認、類似作業の洗い出しなど、全社員が実施し、類似事故の再発防止に努めております。

1月	転落事故防止
2月	酸欠事故防止
5月	横転事故防止
7月	圧力・被液・荷役機器事故防止
8月	誤出荷・誤納入事故防止

## H (ヒヤリ) H (ハット) K (気がかり) カードの活用

ヒヤリ・ハット・気がかりな事例を記録に残し、社内へ水平展開することで事故削減へ繋がっています。

また、2023年度より月間HHK賞を制定し、事業部毎に表彰することでこれまでよりHHKカードを提出することの意識を向上させております。

提出枚数

2020年度	381枚	2021年度	412枚
2022年度	454枚	2023年度	1,001枚

## 想定訓練実施状況

2023年9月1日から9月6日にかけて倉庫・ConTechにて大地震を想定した防災訓練を行いました。

避難訓練だけでなく放水訓練も行い、いざという時にしっかりと行動できるように真剣に取り組んでいます。



ベトナム倉庫でも同じように放水訓練を行っております。



新設時の倉庫全景

## 安全および健康推進に関する外部表彰 2022年10月～2023年9月

年月	表彰名	表彰元	受賞対象
2022年12月	モーダルシフト取り組み優良事業者賞	(社)日本物流団体連合会	NRS株式会社
2023年5月	理事長表彰	新潟県危険物安全協会	新潟事業所
	パートナーシップ協議会総会表彰	S/パートナーシップ協議会	名古屋ケミポート
2023年6月	物流部長賞	M株式会社様	北九州事業所
2023年7月	安全優良賞	M株式会社様	千葉事業所
	健康推進優良事業所（金賞）	石油製品販売健康保険組合	NRS株式会社

## 顧客に満足されるサービスを目指して

品質方針：

「顧客が満足する物流の品質・プランを提供し社会に貢献する」

### 誤出荷削減への取り組み

NRSグループでは、取扱貨物100万件当たり何件誤出荷が発生しているかという誤出荷率（ppm）を品質目標として、誤出荷削減に取り組んでいます。

### 安全規則の徹底と教育指導

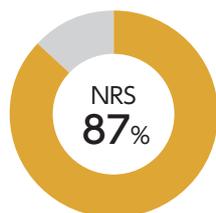
危険物物流に必要な専門的知識の維持・習得を目的に当社では、毎年全社員を対象に勉強会を開催しています。内容は危険物関係法令・IMDG CODE（国連機関で定めている危険物輸送規制）、AEO制度等です。また、部門毎に専門的な研修も行い、安全で高品質な物流サービス提供に努めています。

### 危険物取扱者の資格取得奨励

当社では間接部門の社員にも資格取得を促しています。

危険物取扱者乙種4類（甲種含む）取得率

(2023年9月末時点)



NRS 87%



NRS物流 100%



## 高品質物流への取り組み

### 教育・研修から、地球の化学品物流に最適解の提供を目指し当社の取り組みを紹介

#### ■九州の化学品物流にも最適解を提供します

熊本支店は8月1日より一部貨物受入を開始、12月に本格機能を整備しシリコンアイランド九州内、特に活発な企業進出が続く熊本での半導体産業への原料供給体制が仕上がります。

本支店は、サステナブルな観点で地球に・人に・やさしく、かつ生産性を高めていける構想を叶えるべく主に次のことを実施しました。

まず設備面では、電力は再生可能エネルギーの使用を電力会社と契約、また太陽光パネルを一般品棟屋上に設置し、支店内電力の約30%を補完しました。

これ以外にも、支店内の外灯にはソーラーウインド街路灯（風力・太陽光）、ソーラー街路灯（太陽光）の設置等、小さなことですがより環境負荷の小さいものを採用しました。

実務面においては、支店内（倉庫・タンク置き場）の管理はハンディターミナルを使用し、貨物に貼付している二次元コードを読み取るかたちで入出庫管理を行いました。

人の目だけに頼らない入出荷管理により、誤出荷防止に努めています。

将来的には無線周波数識別のRFIDの採用も視野に入れ、更なる省力化を図ることで、人にやさしい作業環境の実現と生産性向上を目指していきます。

これ以外にも、ゲートシステムや入場予約システムを導入し、2024年問題でもクローズアップされる荷待ち時間を、よりスムーズな貨物受入により軽減を目指しています。事務所棟も、“社員モチベーション向上/採用活動への貢献/お客様への安心感”の提供をテーマに、グリーンを基調としたカフェスペースなどリラクスペースを創出すると共に、全体としてもコミュニケーション促進の場を意識した作りをしています。

熊本支店は、NRSアセット（倉庫・輸送・デポ）の集合体。且つ徹底した製品管理が求められるデリケート貨物が在庫の殆どを占めます。製造・人的・知的資本をフル活用した最新設備で九州（発、地球）の化学品物流に最適解を提供します。

